

宮崎兄弟資料館だより

第8号 2018/03/31

シンガポール孫中山南洋紀念館・晚晴園一行 荒尾市訪問

—平成31年「共同報告書」発刊をめざして—



▲浅田市長とシンガポール晚成園訪問団 記念写真
(右から：アンジェラ・イエ副館長、アルビン・ティン館長、浅田市長、永尾教育長、エリカ・フマネージャー)

平成26年9月に荒尾市宮崎兄弟資料館とシンガポール晚晴園は、孫文と日本の友人である宮崎滔天との歴史的関係と深い友情を礎として、「先達たちが築きあげた深い友情に対する理解を一般市民に広げ、両国の友好関係を推進する」ため、文化協力事項に関する協定を締結しました。この「基本協定書」に基づいて作成する「共同報告書」はいよいよ最終段階に入りました。



▲教育委員会会議室 打ち合わせ



▲宮崎兄弟の生家施設 友情の梅の木前にて記念撮影

晚晴園側から、革命を支援するため生涯を捧げた宮崎滔天のシンガポールでの活動の研究をきっかけに、今後新たなコラボレーション企画を実施したいとの意向が伝えられました。また、文化財と史料の保存及び活用について「互いに勉強し合おう」と語られました。

さらに、市長表敬の際、ティン館長と浅田市長は伝統と歴史の大切さを次の世代へ伝える重要性について論議し、最後に、ティン館長は浅田市長に「ぜひシンガポールへお越してください。いつでも大歓迎です」とおっしゃいました。

第29回孫中山・宋慶齡紀念地連席会議に出席 —アメリカへ渡り・ロサンゼルス市を訪問—

平成29年11月28日～12月2日、生涯学習課長を代表とする荒尾市訪問団は「第29回孫中山・宋慶齡紀念地連席会議」（以下、連席会議）に参加するため、アメリカ西海岸の玄関口にあたるロサンゼルス市を訪問しました。革命運動の資金を募るため何度もアメリカを訪ねた孫文は、2人のアメリカ人支援者、キャプテンオバニヨンとホーマーリーに出会いました。二人ともやがて孫文にとって最も信頼できる仲間となり、中国の革命運動に大きく貢献をした人物とされています。



▲第29回孫中山・宋慶齡紀念地連席会議 記念撮影（11月29日撮影）

今年の連席会議では、荒尾市訪問団は宮崎滔天だけではなく、民蔵と彌蔵について詳しく発表し、好評を得ました。二人の兄が中国での革命を支援し始めたきっかけ、また、孫文の革命運動や弟・滔天へ与えた影響を英語と中国語で同時に発表しました。「実に面白かった」、「宮崎兄弟の話をもっと聞きたい」などのコメントを各施設の関係者からいただきました。

主催者の孫国雄氏及び孫文の孫である孫穂華氏、孫穂英氏が今年の会議に参加しました。本会議にて、孫国雄氏は海外に住んでいる華僑が自分の歴史をもっと理解できるよう、中国で「孫文・宋慶齡紀念館巡り」を企画していることを発表し、「年に何回も中国へ渡り、革命の歴史について勉強し、海外に住んでいても、華僑としての歴史を忘れずに次の世代へ伝えられることを目指している。中国での企画が成功すれば、世界中の孫文・宋慶齡関連施設巡りも考えている」と発言しました。

宮崎兄弟研究事業報告書

『世界のなかの荒尾—宮崎兄弟の軌跡をたどる』発刊

平成30年3月、3カ年にわたって取り組んできた宮崎兄弟研究事業の成果として、報告書『世界のなかの荒尾—宮崎兄弟の軌跡をたどる』を発刊しました。

今年、平成30年は宮崎兄弟の生家施設が開館してから25周年という節目の年です。この記念の年に本書を発刊することによって、宮崎兄弟の世界的・歴史的価値を改めて強く発信し、多くの方に知っていただく機会となれば幸いです。



☆荒尾市宮崎兄弟顕彰基金への寄附のお願い☆

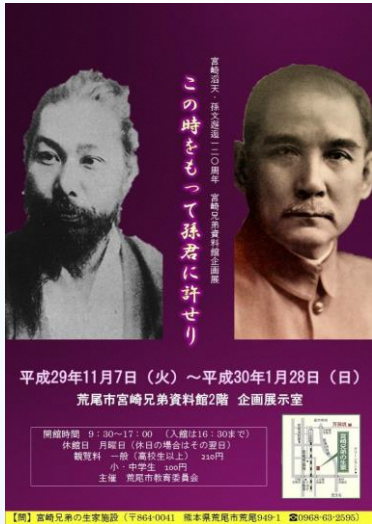
荒尾市では「荒尾市宮崎兄弟顕彰基金」を設置し、宮崎兄弟の生家施設の維持管理や、宮崎兄弟の顕彰事業に活用しています。世界に誇ることができる荒尾の偉人の歴史を次代に継承していくため、寄附に御協力をお願いいたします。



・ 11/7～1/28

**宮崎滔天・孫文邂逅120周年企画展
「この時をもって孫君に許せり」**

120年前の1897年に滔天と孫文が運命の出会いを果たしたことにより、孫文の日本における革命運動が一気に加速したことを伝える企画展を行いました。滔天と孫文が交わした筆談残稿の史料をはじめ、孫文の自伝が掲載されている『孫文学説』（1919）や『三十三年之夢』（初版本や中国語版など）を展示し、いかに孫文が滔天をはじめ、「宮崎兄弟」を信頼し評価していたのかを紹介しました。



▲企画展ポスター

・ 12/4 第53回 滔天忌俳句大会

今大会は、92名から348句の投句がありました。天賞には、荒尾市の坂口三千代氏の「着ぶくれて滔天語る 鉾山男（やまおとこ）」が選ばれました。

また、今大会からは少年少女の部が設けられ、記念すべき一位には、府本幼稚園（荒尾市）年長の石橋ひろとき君の「とうてんきよ せみのぬけがら 十三こ」が選ばれました。



▲第53回滔天木俳句大会 記念写真

1/26 第64回文化財防火デー・防火訓練

今年も文化財防火デーに合わせて防火訓練を行いました。今年も、8月に荒尾市に着任した国際交流員のタンさんも水消火器で消火訓練にチャレンジ！参加後、タンさんは「木造建築の多い日本だからこそその防火訓練の大切さを感じた」との感想を抱いたとのことでした。



▲水消火器を使った消火訓練に挑戦するタンさん（中央）

・ 3/24、3/25 第8回 春の華展

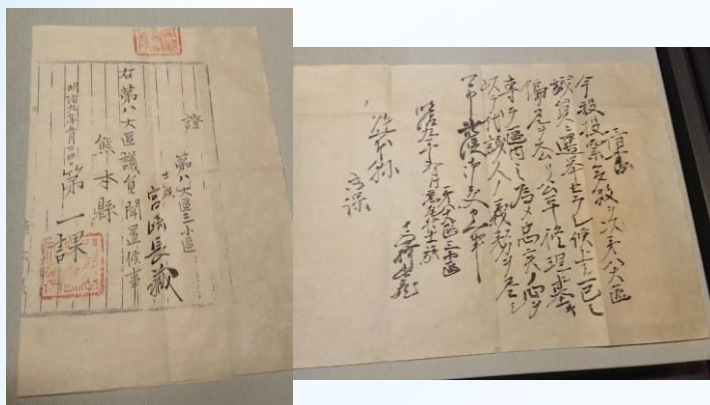
今年も色鮮やかな花々が宮崎兄弟の生家を彩りました。当日は春のぼかぼか陽気で、暖かな日差しの中、多くの方が生け花の作品を見にいらっしやいました。二日目の生け花体験も盛況で、二日間で約200名の方に観覧いただきました。



資料紹介 ⑦

第八大区三小区議員申付、請書

1876（明治9）年、熊本県では、全国に先駆けて「熊本県臨時民会規則」が制定され、男子の戸主全員が選挙権を持つ小区議員選挙、さらにその互選で大区議員が実施されました。宮崎兄弟の父・長蔵は第八大区の議員に選出されており、これはその申付書です。これに対し、長蔵は「代議人ノ義務ヲ尽ス」とする請書を提出しています。



寄託 埼玉県 宮崎明氏

施設紹介④

孫中山南洋記念館・晚晴園（シンガポール）

ゴム商人であった張永福が母親のために購入した別荘で、後に革命活動の拠点として孫文に提供しました。辛亥革命に至る前の10回の蜂起のうち、3回がこの晚晴園で計画されています。

現在は、シンガポールの「国家古跡」（史跡）として、孫文の革命活動を紹介する記念館となっています。



▲晚晴園（外観）

＜今後の予定（4月1日～）＞

平成30年は、宮崎兄弟の生家施設開館から25周年の記念の年です。これを記念して、宮崎兄弟の生家では、例年のイベントに加え、記念イベントを順次開催します。

・明治維新150年、宮崎兄弟の生家施設開館25周年 宮崎兄弟資料館企画展

「もう一つの維新—宮崎八郎がみた夢—」

明治維新から150周年、さらに宮崎兄弟の生家施設開館25周年という節目の年を記念して、「自由民権」に生涯をささげた「宮崎兄弟」の原点・八郎に関する企画展を開催します。



会期	平成30年4月8日(日)～9月24日(月・祝)
開館時間	9:30～17:00 (入館は16:30まで)
休館日	月曜日 (休日の場合はその翌日)
観覧料	資料館入場料のみ 一般 (高校生以上) 210円 小・中学生 100円

- ・牡丹茶会（4月8日）
- ・第5回牡丹文芸・美術展（4月8日～5月6日）
- ・第41回夏休み少年少女俳句教室
（荒尾市俳句協会主催、7月下旬～8月初旬）
- ・第5回夏休み子ども教室（8月上旬頃）
- ・第13回 音と光の祭典（一小校区元気づくり委員会主催、9月29日）

詳細については荒尾市教育委員会（☎0968-63-1681）までお問合せください。

～次号予告～

次回の「宮崎兄弟資料館・館報」9号は、2018（平成30）年9月30日に発行予定です。

内容は、

- (1) 生家だより No.9
- (2) 資料紹介⑧
- (3) 施設紹介④
- (4) 書籍紹介①

を予定しております。その他、掲載内容について何かご意見・ご要望があれば、下記メールアドレスまでお寄せください。

E-mail : culture@city.arao.lg.jp

（担当：野田【荒尾市教育委員会】）